

種類別明細書

※前年度の内容で印刷しています。変更のある場合は、下記の要領で記載してください。

【資産の種類】

1. 構築物
2. 機械及び装置
3. 船舶
4. 航空機
5. 車両及び運搬具
6. 工具、器具及び備品

【資産の名称等】

資産の名称・規格等を具体的に記載して下さい。
20字を超えるものは、簡略して20字以内で記載して下さい（濁点・半濁点はそれぞれ1字として数えます）。
中古で取得した資産は、「〇〇〇(中古)」と記載して下さい。

【取得年月】

取得年月を記載して下さい。
「年号」 昭和…S
平成…H
令和…R

【取得価額】

資産を取得するために要した費用（運賃、手数料、据付費等）を記載して下さい。
圧縮記帳は地方税法上認められませんので、圧縮前の取得価額を記載して下さい。

【耐用年数】

減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40.3.31 大蔵省令第15号）に基づいて記載して下さい。
短縮耐用年数及び中古資産の見積り耐用年数を適用しているものは、その耐用年数を記載して下さい。

【課税特例】

特例が適用される場合は記載して下さい。

第二十六号様式別表一（提出用）

令和4年度
所有者コード

種類別明細書（増加資産 全資産用）

所有者名

枚のうち

枚目

行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額 (イ)	耐用年数	減価残存率 (ロ)	価額 (ハ)		※課税標準の特例 率 コード		課税標準額 (ニ)	増加事由	摘要
					年号	年	月				十億	百万	千	円			
01	1	1741	路面アスファルト工事	1	S	58	6	1340000	10	0.794	限	67000		67000	1・2 3・4		
02	2	1759	カラー印刷機	1	H	16	4	56700000	10	0.794		25458745		25458745	1・2 3・4		
03	2	1767	噴霧機 散布機	1	H	17	8	150000	5	0.631		48674		48674	1・2 3・4		
04	2	1775	プレス機	1	H	18	3	807859	7	0.720		500225		500225	1・2 3・4		
05	2	1805	放電加工機	1	H	6	9	15636400	10	0.794	限	781820		781820	1・2 3・4		
06	2	1813	乾燥機	1	H	16	9	1800000	8	0.750		664452		664452	1・2 3・4		
07	6	1821	パソコン	1	H	18	6	850956	4	0.562		108347		108347	1・2 3・4		
08															1・2 3・4		
09	1		ビニールハウス	1	H	31	3	500000	8						1・2 3・4		
10	2		あぜ塗機（中古）	1	H	31	4	300000	2						1・2 3・4		
11	6		きのこ栽培用ほだ木	1	R	1	8	450000	3						1・2 3・4		
12															1・2 3・4		
13															1・2 3・4		
小計																	

(1) 修正する場合
修正箇所を二重線で消し、その上に修正後の内容を記載して下さい。

(2) 減少した場合
減少した資産の行を二重線で消して下さい。

(3) 増加した場合
資産の種類・名称等・数量・取得年月・耐用年数・取得価額を記載して下さい。

※以下の資産については、申告の必要はありません。

- ・耐用年数1年未満の資産
- ・取得価格が10万円未満の資産で、法人税法等の規定により一時に損金算入されるもの
- ・取得価額が20万円未満の資産で、法人税法等の規定により3年間で一括して償却されるもの
- ・自動車税および軽自動車税の課税客体である車両
 - ・トラクター
 - ・コンバイン
 - ・乗用田植機等

記入例

「増加事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受入れ、4 その他 のいずれかに○印を付けてください。